

令和4年度第2回介護保険運営協議会 会議録

項目	内容	
開催日時	令和5年2月24日(金) 午後6時30分から午後7時45分まで	
開催場所	二宮町役場 第1会議室	
出席者氏名	委員	10名 齋藤達也会長、原徹、齋藤昌久、吉澤学、菅澤富枝、 宮内春実、松井陽代、里山樹、西山静子、高見澤秀男
	事務局	6名 健康福祉部長 高齢介護課長、介護保険班長、介護保険班員、高齢福祉班長、 地域包括支援センター管理者
	その他	1名 計画策定コンサルティング (株)アールピーアイ栃木
欠席者氏名	山田政雄、柴谷寛人	
議題	1. 開会 2. あいさつ 3. 議題 (1) 令和4年度介護保険実施状況中間報告について (2) 地域支援事業について (3) 高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画について (4) その他	

発言者	議題・発言内容及び決定事項
事務局	<p><u>1. 開会</u></p> <p>本日司会を務めさせていただきます、二宮町高齢介護課の田邊です。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日はお忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。始めに、本日の協議会等は、新型コロナウイルス感染拡大防止を目的として、リモートと対面のハイブリッド方式で開催をさせていただきます。なお、会議の記録のために録音をさせていただくほか、委託事業者のほうも参加していますので、ご了承のほどお願いいたします。また、3つの会議を開催させていただく中で、中間報告等を順番に実施させていただきます。議事がスムーズに進行できますよう、皆様方のご協力をお願いいたします。</p> <p>続きまして、本日の出席委員数の報告をいたします。委員定数 12名のうち、現在 10名の方に参加をいただいています。二宮町介護保険条例施行規則、第 17 条第 2 項の規定により、定数に達していることをご報告させていただきます。</p>
会長	<p><u>2. あいさつ</u></p> <p>本日は年度末でお忙しい中、ご参集いただきましてありがとうございます。せっかくお集まりいただいたので、活発なご意見の交換をよろしくお願いいたします。</p>
事務局	<p>ありがとうございました。</p> <p>それでは、改めまして会議の公開について説明をします。新型コロナウイルス感染防止対策として、本日の傍聴はオンラインで募集をしましたが、申し込みはありませんでした。</p> <p>続きまして、配布資料の確認をさせていただきます。過不足等があればお申し出ください。</p>
会長	<p>それでは、第 2 回運営協議会を進行させていただきたいと思います。</p> <p>議題（1）令和 4 年度介護保険実施状況中間報告について、事務局より説明をお願いいたします。</p>

	<p><u>3. 議題</u></p>
事務局	<p><u>(1) 令和4年度介護保険実施状況中間報告について</u> (資料1、2) 事務局より説明</p>
会長	<p>今のご説明に対して何かご質問はございますか。</p>
委員	<p>介護保険制度とは、介護が必要となり申請するものだと思うのですが、要支援者の数が大幅に増えていることなどから、何かがあった時のために申請をしておくといった方が増えているように感じます。支援の受け皿が不足することにより、必要な方へサービスが行き渡らなくなるのではないかと懸念されますが、保険者としてはどのようにお考えですか。</p>
事務局	<p>新型コロナウイルスの影響により、地域の通いの場等へ行けなくなり、身体機能の低下がみられる方が増えていると思います。身体機能を維持するためにも、介護認定を受けて違う予防サービスを受けることが必要ではないかと考えています。</p>
委員	<p>通いの場などを再開して、介護認定を受けた方を卒業に向かわせるように取り組むことは検討していないのでしょうか。</p> <p>現在、通所サービスやリハビリは、定員がいっぱいで受け入れられないと断られることが多くあります。そのため、感染症の拡大前のように、通いの場等において身体を動かせるようにシフトすることで、本当に介護保険サービスを必要としている方に支援の手が届いていくのではないかと感じました。</p>
事務局	<p>二宮町の高齢化率は、65歳以上が35%を超えている状況の中、介護保険サービスを受ける方は増加傾向にあるため、事業者がご苦労されていることは重々承知しています。コロナ禍により外出を自粛して閉じこもりがちな方に対し、地域の力を借りて、通いの場等で活動していただきたいと思う一方で、集約できる人数などの制限があり、すぐに改善することは難しい部分もありますが、課題として検討していかなければならないと思っています。</p>
委員	<p>通いの場で参加者と顔を合わせ、身体を動かすことはとても有効</p>

	<p>で大事な場だと思えますが、それだけではカバーしきれない部分があり、予防的に介護保険を利用して、サポートを受けながら生活を維持するといった方が増えていくことは仕方がないように思います。ただ、受け皿となる事業者が不足していることは大きな問題であり、共通の課題だと思うので、行政としてどのように対応するか、先を見据えた計画を考えられると良いと感じました。</p> <p>通いの場に参加している方は、外に出ようという意欲のある方や、会場まで歩いて来られる方など、元気な方が多いように感じます。課題となるのは、なかなか外に繋がりが持てない方だと思うので、その方々の受け皿は必要だと思います。</p>
委 員	<p>介護保険サービスの利用者を抑えてほしいというわけではないのですが、感染症拡大前は、二宮町の地域の通いの場を活発に活用できていたと思います。</p>
委 員	<p>現在では通いの場が再開されているところも多く、徐々に感染症拡大前の状況に戻り始めている印象ですが、そのことと介護認定を申請せざるを得ない方の増加はイコールではないと思います。</p>
委 員	<p>要支援認定者の増加を実感したため、行政の対応について質問させていただきました。</p>
事 務 局	<p>二宮町の人口構成は、75歳前後の団塊の世代の方が最も多くなっています。そのため、この先はどうしても介護申請者数が増えていくと考えられるため、先々を見据えた計画を考えていかなければなりません。</p>
会 長	<p>高齢化は、社会全体が止めようのない流れで進んでいるため、介護あるいは予防に対する需要は増えています。それに対する受け皿の不足については、なかなか解決が難しい問題だと思います。予防給付により介護事故などの予防に繋がっている部分もあると思うので、大事な意味を果たしていると思います。</p>
委 員	<p>リハビリはとても大事だと思うのですが、「訪問リハビリテーション」の計画対比が34.5%と少なくなっているのには何か理由があるのでしょうか。</p>

	<p>また、令和3年度にはすでに新型コロナウイルス感染症が拡大していたにもかかわらず、令和3年度実績よりも令和4年度実績のほうが低くなっている理由も気になりました。</p>
事務局	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、リハビリを受ける方が少なくなっているのだと思います。</p>
委員	<p>身体が弱っていて動かない方に対し、通所等でリハビリをして身体を動かせるように働きかけることが必要だと思いました。運動をするだけなら行くが、一緒にお昼ご飯を食べるのであれば行きたくないと言う方もいるので、どのように働きかけたら良いのか考えなければなりません。</p>
委員	<p>二宮町は、訪問リハビリが訪問看護に併設しているところが多くあります。訪問看護の事業所の中で理学療法士や作業療法士によるリハビリを受けているため、訪問看護にカウントされている方が多いのではないかと思います。</p>
地域包括支援センター	<p>二宮町は、訪問看護ステーションからリハビリの専門職に来ていただくことが大半を占めているため、「訪問看護」を使っているとカウントされていると思います。</p>
委員	<p>わかりました、ありがとうございます。 通所リハビリテーションはまた別ですね。</p>
地域包括支援センター	<p>訪問リハビリは、訪問リハビリテーションというところの事業所が実施するものですが、町内にはなく、町外のサービスを利用するかたちになると思います。</p>
会長	<p>「訪問リハビリテーション」が計画に対して低いのは、利用者がリハビリに積極的でないわけではないということですね。</p>
委員	<p>「小規模多機能型居宅介護」と「看護小規模多機能型居宅介護」に1名ずつ利用者が入っていますが、二宮町にはこれらの施設がないので、近隣市町の施設に通っているということですか。</p>

事務局	住所は二宮町にある方が、別の市町の施設サービスを使っているということです。
委員	「認知症対応型通所介護」は、令和3年度上半期実績が149名、令和4年度5月から10月の合計が479名、計画対比173.6%となっているにもかかわらず、令和4年度計画値が46となっています。次年度、計画値の見直しをするのでしょうか。
事務局	町外の事業所を利用される方が増えており、大幅な増加となっているため、次年度以降も確認しながら計画値を定めていきたいと思っています。
事務局	第8期計画において、令和3年から令和5年の計画値を出しているため、令和5年の計画値を変更することはできませんが、第9期計画において、令和6年から令和8年の計画値を検討する際は、実績等も加味して検討していきたいと思います。
委員	ありがとうございます。
会長	それでは、議題の(2)地域支援事業について、事務局より説明をお願いいたします。
事務局	<p><u>(2) 地域支援事業について</u></p> <p>(資料3、4) 事務局より説明</p>
会長	何かご質問はございますか。
委員	3. 生活支援体制整備事業、「福祉有償運送運転者講習会」について、参加者と事業所との繋ぎを行ったと説明がありましたが、働きたいといった希望のある方と、送迎サービスを希望している事業所との繋ぎを行ったということですか。
事務局	定年後、高齢者の出かける機会の支援を検討しているという方がいらっしゃったため、所内の移送サービスの事業所との繋ぎを行わせていただきました。

委 員	送迎の運転手などはどこも人材が不足していると思うので、とても良いと思いました。今後も積極的に取り組んでいただけると助かります。
会 長	ありがとうございました。ほかに何かご質問はございますか。
委 員	4. 認知症総合支援事業、「初期集中支援推進事業」について、認知症初期集中支援チーム対応は「0件」となっていますが、どのようなかたちでこのチームが動くのかを教えてください。
事 務 局	認知症が疑われる方で、医療等に結びついていない方などに対し、町や包括支援センターが相談対応をして、かかりつけ医がいないなどの課題について、医療機関の受診の支援やその後の介護サービスに繋がるまでを支援します。
委 員	初期というのは、困った時点となるのでしょうか。本人や家族が認知症を疑う状態になった時、何を相談すれば良いのか、また、かかりつけ医や地域包括支援センターなど、まずはどこへ相談したら良いのかがわかるようにしていただくと助かると思います。
委 員	不安がある場合は相談くださいといった広報をして、広く多くの方に周知する必要があると思いますが、対象の方は誰が見つめるのでしょうか。家族や地域住民、民生委員などから気になる方について相談があり、それから動くかたちなののでしょうか。
地域包括支援センター	ご家族から初期集中支援チームに相談があり、地域包括支援センターの職員がアセスメントをしてサポート医に報告をしたうえで動いたケースは過去にありました。 対応件数がゼロと上がっているのは、地域包括支援センターで最初の相談を受けた時に、介入しながら早期対応をしているため、認知症初期集中支援チームまで上がらずに済んでいるケースがあるためだと思います。「初期」というのは、認知症の初期の部分と、認知症になった方へのファーストタッチを含めた関わりだと思っているので、心配事などがある際は、まず地域包括支援センターにご相談いただければ、認知症初期集中支援チームとしての活動とするか、地域包括支援センターとして活動するかを判断して動きたいと思っ

	<p>ています。</p>
委 員	<p>認知症総合相談延べ件数は73件ありますが、その症例の中に、認知症初期集中支援チームで対応するようなケースはなかったということでしょうか。</p>
地域包括支援センター	<p>はい。</p>
会 長	<p>実際の相談件数はもっとあったのですか。</p>
地域包括支援センター	<p>認知症総合相談延べ件数は、あくまでも4月から12月までの認知症に関しての相談件数を挙げていますが、地域包括支援センターでは、月平均約80件の相談をいただいています。</p>
委 員	<p>日々相談があり、ケースバイケースで対応して医療やケアに繋がっているということですが、その中において認知症初期集中支援チームを作ることにはどのような狙いがあるのでしょうか。</p>
地域包括支援センター	<p>医療に全くかかっていなかった方の場合は、地域包括支援センターがアセスメントをしたうえで、認知症初期集中支援チームのサポート医に相談をします。そして、場合によってはサポート医が訪問をしたり、近隣病院へ紹介状を書くといった繋ぎをしていただけるので、医師の後ろ盾があるかたちで地域包括支援センターが動けるようになります。</p>
委 員	<p>毎月ある80件ほどの相談の中には、かかりつけ医がいないといったケースもあると思いますが、認知症初期集中支援チームとして動かななくても、地域包括支援センターにおいて医療と繋がられるケースもあるのではないのでしょうか。</p>
地域包括支援センター	<p>地域包括支援センターの支援により受診に繋がられることもあります。</p>
委 員	<p>それでも認知症初期集中支援チームが必要だといったところが明確になると良いと思いました。</p>

事務局	<p>国からは、認知症初期集中支援チームを作り取り組むよう示されています。二宮町の場合は、地域包括支援センターがよく動いてくれているので、認知症初期集中支援チームに繋がる前に対応ができているのだと思いますが、今後、必要な時には認知症初期集中支援チームにお願いをして動けるように、認知症初期集中支援チームで対応すべきものと地域包括支援センターで対応できるものをしっかり捉えながら、取り組んでいきたいと考えています。</p>
委員	<p>国の義務だということはわかりました。</p>
委員	<p>「3. 生活支援体制整備事業」について、独居など、介護申請を受けていない予備軍の方は地域にたくさんいると思います。この方々をどのように見守っていくかは、お互いさま推進協議会等で意見を交換されていると思いますが、具体的な活動は下りてきていません。ただ冊子や資料を作っただけで終わってしまっていることが非常に多いと感じます。通いの場には、送迎ではなく歩いて参加しなければならないといった規則を定めているところもあるので、通いの場に行けないような方を地域でどのように支えていくか、具体的なシステムを作ってもらえると良いと思います。</p>
事務局	<p>今月号の広報紙にも記載していますが、地域の活動場所に所属していなくても、近所の方同士の気付きというのはとても大事だということ、お互いさま推進協議会等でも話に挙がっています。日頃からのお互いの見守りの関係や関係づくりができるように冊子を作りましたが、特に町民の方に特別なことをしてもらいたいということではなく、日頃から気になる方が目に入った時などにどうしたのかなという気持ちを持っていただき、気になるようであれば、地域包括支援センターやことわらない相談窓口などに相談してほしいといったことを載せています。この冊子は、ただ配るだけでなく、色々なところにお伺いして、気になった点があれば相談してくださいという趣旨を説明しながらお配りしたいと思っています。</p>
委員	<p>民生委員は個人情報把握していると思います。プライバシー保護の問題はあると思いますが、地域の中で必要なプライバシーというものをきちんとつくることで、目が届き、みんなが気付くようになると思います。民生委員を中心に冊子を配布するのであれば、民</p>

<p>委 員</p>	<p>生委員が自治会に働きかけて、具体的に取り組む手立てがあると、とても有効だと思います。</p> <p>地域には70代の方が多く、今後は一人暮らしの方がどんどん増えることが予測されるので、災害時などにどのように地域で助け合っていくかが大きな課題となります。自治会などを巻き込みながら、意見を聞きフィードバックをしながら、地域の共通課題にできるように繋ぎ合えると良いと思います。福祉のことは民生委員や社会福祉協議会が担当するといった縦割りではなく、自治会みんなの課題であるため、役場の部署の関連性も含めて、関心のある方や思いのある一部の方だけのものにならないように、地域の状況を把握したうえで重層的に住民の暮らしを守ることを考えていただきたいと思っています。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>社会全体が高齢化していく中で、見守る側、見守られる側ではなく、お互いが見守る、お互いにできることをやりましょうといったことが定着するための第一歩としてパンフレットを作りました。もちろんパンフレットを作って終わりではなく、役場の中の連携を取りながら、一步ずつ広報していきたいと思っています。</p>
<p>委 員</p>	<p>見守りガイドはいただけるのですか。</p>
<p>事 務 局</p>	<p>最後にお配りします。</p>
<p>会 長</p>	<p>向こう三軒両隣という言葉があるように、各自治体での普段からの交流と、行政の工夫といった二つの問題があり、すぐに解決することは難しいかもしれませんが、前向きに取り組んでいかなければなりません。</p> <p>ほかにご質問等がなければ、議題（3）高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画について、事務局より説明をお願いします。</p>
<p>事 務 局</p>	<p><u>（3）高齢者保健福祉計画及び第9期介護保険事業計画について</u> （資料5、6、7、8）事務局より説明</p>
<p>会 長</p>	<p>資料7、問52、「家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください」についての回答内容は、日頃からど</p>

事務局	<p>のくらい地域の皆さんと情報共有をしているかなどにも関係するので、結果を上手く反映して、次の計画を作成していただきたいと思 います。</p> <p>ほかに質問がないようであれば、第2回介護保険運営協議会の議 題はすべて終了しましたので、事務局に進行をお返しいたします。</p> <p><u>(4) その他</u> (質疑応答なし)</p> <p>これもちまして第2回介護保険運営協議会を閉会します。あり がとうございました。</p> <p style="text-align: center;"><b>【閉会】</b></p>
-----	---